

静岡大学教育学部 中村美智太郎准教授 指導助言記録報告書

○ 新しいAIとどう付き合っていくべきか

- ・ AIの進化に対し、驚きと期待の複雑な感情に包まれる。
- ・ ゲームの世界の方が実際の生活と比べると快適に過ごせる世界がある。
仕事でも、AIのおかげで物事がスピーディーに解決ができ、思考の整理にも使える。

○ 問題に対する解決方法

- ・ 話合いの中で、学校や家庭のそれぞれで解決するのは難しいので、スクラムを組んで向き合い考えていくことが大事である。
- ・ 校内暴力の数が小学校で増加している。この校内暴力にSNS関連がカウントされている。
- ・ 新しいものをトラブルの原因としてきちんと受け入れる必要がある。

○ 挑戦と失敗

- ・ 子どもに失敗してほしい。チャレンジしてほしい。
- ・ 失敗してもいいからレジリエンスを持って回復してほしい。それには立ち直れる土場を大人が準備しておくことが大切。

○ 反抗期

- ・ 反抗期らしい反抗期がないケースも増えている。反抗ができない環境や反抗がうまく機能しない人間関係にあることも考えられる。
- ・ 大人が全部受け止めてくれる環境だと反抗するチャンスがないことになる。

静岡大学教育学部 島田桂吾准教授 指導助言記録報告書

○ 御前崎市の第3次教育基本計画について

- ・ 教育基本計画、教育大綱のターゲットがそれぞれ素晴らしい。

○ 挑戦と共創について

- ・ 御前崎ではすべてのベースが「主体性」だということがわかる。
- ・ やりたいこととやらせたいことをどのように折り合いを付けるかが問題である。
- ・ 子どもがやりたいことをやらせる環境をやるには大人が我慢しなければならない場面がある。
- ・ 子どものレジリエンスの為には大人のレジリエンスが必要である。
- ・ 挑戦することに対してそれを認める大人や友だちなどの環境があれば、次の挑戦と共創が生まれ、次の「じりつ(自立&自律)」へとつながっていく。